

第3章 栄養水準の国際比較

OECD「Food consumption statistics 1955～1973」及びFAO「Production Year Book 1971」。ただし、日本は「食料需給表」。1人当たり国民所得は、経済企画庁「国際経済要覧」1974。ただし、日本は経済企画庁「海外経済動向指標」。

共通事項

1. でん粉質食料は穀類、いも類、でん粉であり、動物性食料とは肉類、卵類、牛乳・乳製品、魚貝類である。
2. '71年度以降の数値はOECD資料による。ただし、オーストリア、フランス、西ドイツ、イタリア、ノールウェイ、スペイン、スイス、ユーゴスラビア、オーストラリアについては'70年度以降の数値はOECD資料による。
3. OECD資料、FAO資料は、それぞれその作成基準において相違点があり必ずしも接続しない。したがって利用にあたっては注意を要する。
4. FAO資料については、本章末尾の注意書を参照されたい。